

## 6.2 選定したモデル地区の概要

大阪府の枚方市と高槻市がモデル地区として選ばれた。

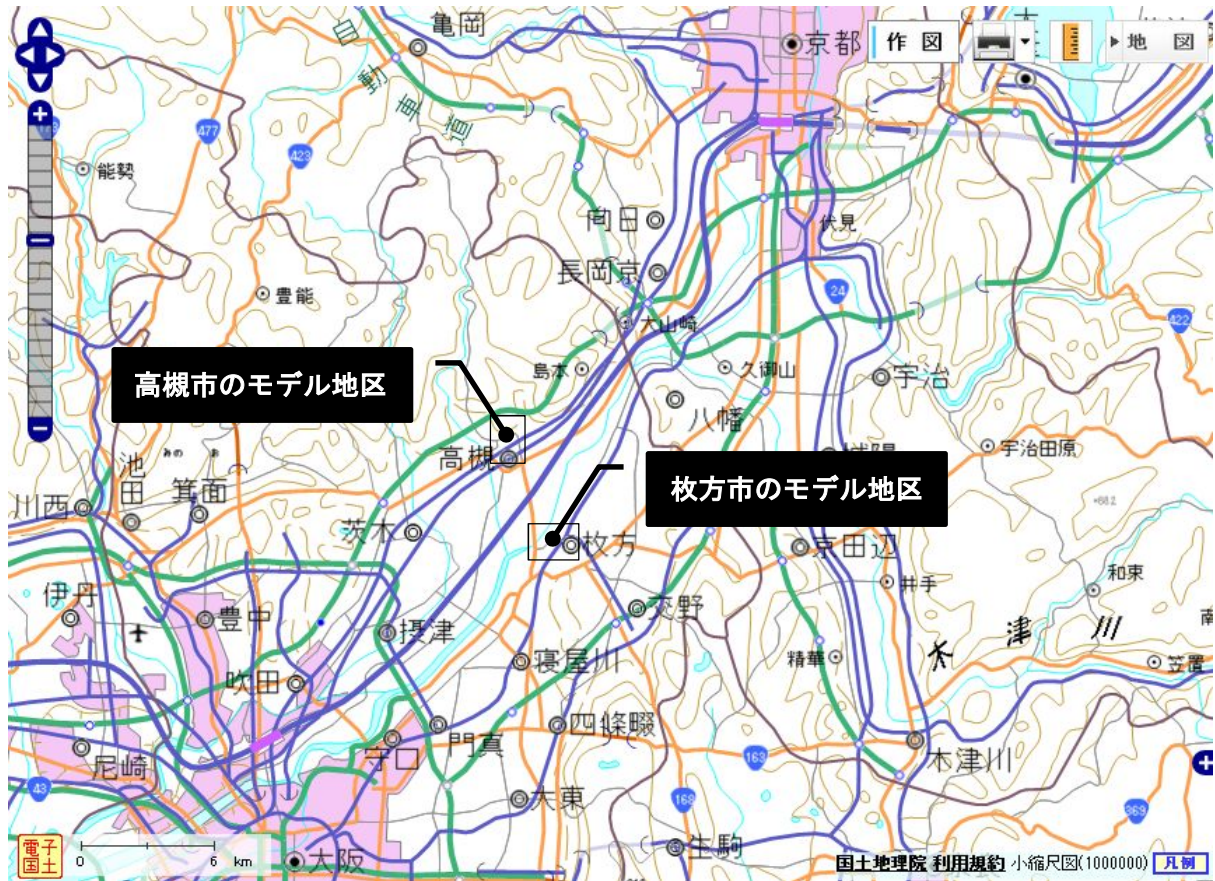


図 6.3 枚方市、高槻市を含む広範囲地図

### 6.2.1 枚方市

#### 6.2.1.1 対象地区

京阪電鉄枚方駅から枚方公園駅に至る街道沿いで、江戸時代には、東海道 56 番目の宿場町であり、淀川水軍の寄港地として栄えた地域。今回の対象地区は枚方市駅近くの商業施設に隣接する岡本町公園及び公園付近の商店街である。





図 6.4 枚方市モデル地区の周辺地図



図 6.5 枚方市モデル地区（左：枚方宿の街道、右上：岡本町公園、右下：共有の井戸）

## 6.2.1.2 主な活動

### 1) 地域の団体とその活動

枚方市でのモデル地区の地域の団体は岡本町町内会である。岡本町町内の大部分が、歴史を生かした町なみ景観を積極的に推進する住民団体「枚方宿地区まちづくり協議会」が策定した枚方宿地区まちづくり協定の区域となっている。

「枚方宿地区まちづくり協議会」の組織である「五六市実行委員会」が中心となり、毎月第 2 日曜日の 10:00～16:00 に「枚方宿くらわんか五六市」という手作り市が開催される。200 店程の出店があり、通常 5 千人程度、多い時には 2 万人の来場がある。以前五六市開催時に打ち水を行った事がある。

### 2) 地元自治体の活動

枚方市は暑気対策として、気温調査、打ち水、緑のカーテンの普及啓発、ドライ型ミストの設置などを行ってきた。特に、打ち水の実施としては平成 24 年 7 月 23 日～8 月 26 日に『打ち水大作戦 in 枚方 2012』を行い、8 月 3 日には 100 人規模の一斉打ち水を実施した。

都市景観の形成を図るため平成 10 年 10 月に「枚方市都市景観形成要綱」を制定し、この要綱に基づき、枚方宿地区において伝統的町家の外観の保全や歴史イメージを高める建築デザインの誘導、街なみの整備を進めている。

## 6.2.2 高槻市

### 6.2.2.1 対象地区

JR 高槻駅前（徒歩 1 分）の北側に立地する複合商業施設（再開発ビル）「アクトアモーレ」と、地域の既存店舗が立地する「アクトモール」に挟まれた市道及び公開空地が中心。アクトアモーレ周辺も対象地区に含まれる。道幅は広いが、自動車は通行禁止である。買い物客だけでなく、主に商店街の西側入り口から中央まで通勤通学の動線（主に地図内バス停留所から JR 高槻駅への動線）として使われている。平日の 10 時～17 時の通行量は 1 万 4000 人である。なお、複合商業施設の上層階は約 500 戸の集合住宅である。



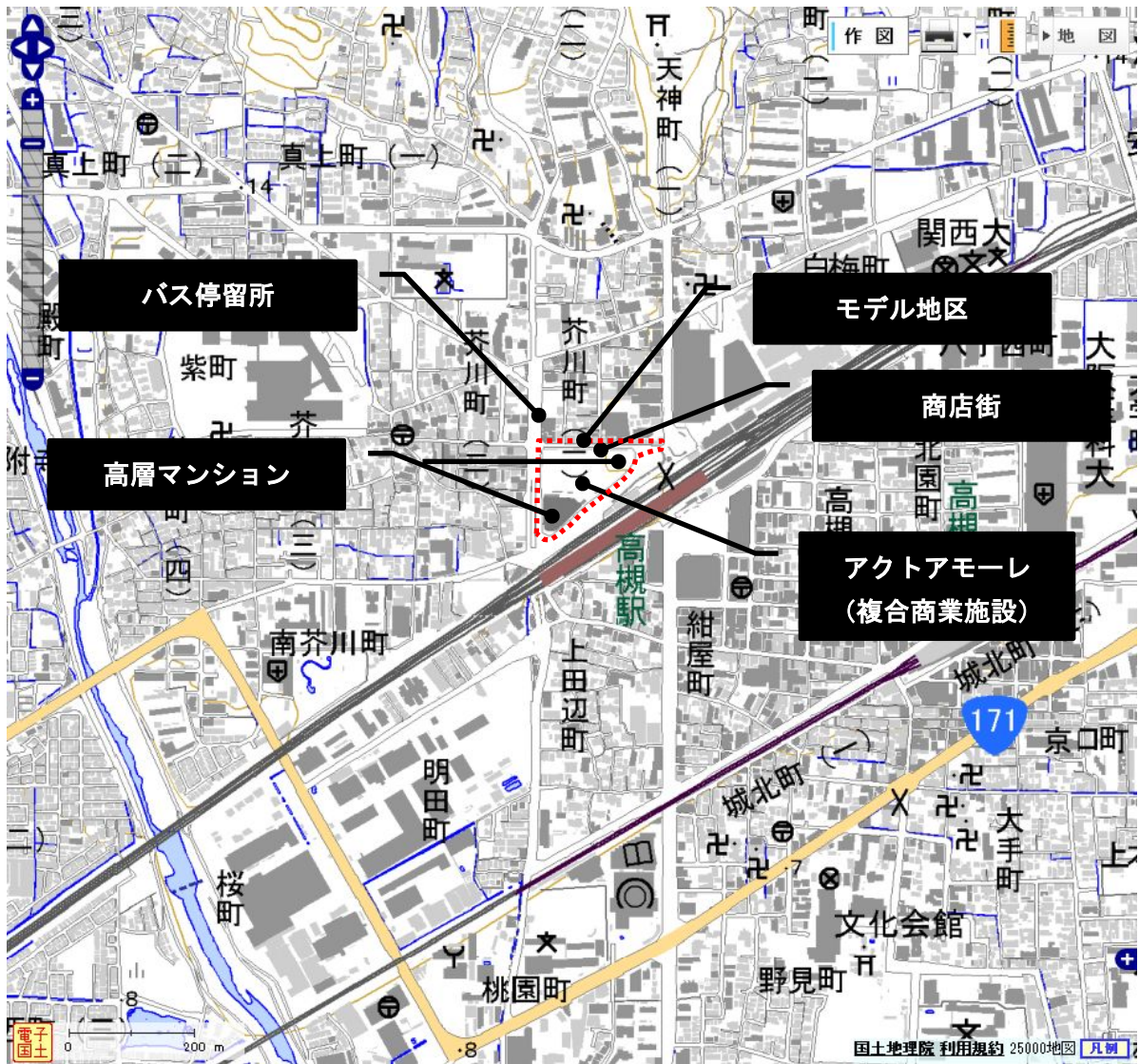


図 6.6 高槻市デル地区の周辺地図



図 6.7 高槻市モデル地区 (左：商店街内、右：商店街西側入り口)

## 6.2.2.2 主な活動

### 1) 地域の団体とその活動

高槻市でのモデル地区の地域の団体はアクトアモーレ店舗会であり、地域と連携して、各種の集客イベント等を実施している。盲導犬チャリティ、子供向けの「夏休み工作教室」、園児クリスマスキャンドルコンサート、地域活性化キャラクターの開発、さらに、地域一帯となった「天神まつり」等を実施している。

### 2) 地元自治体の活動

高槻市は地球温暖化・ヒートアイランド対策として、公共施設や市民を対象として緑のカーテンの取組を普及させる『たかつき緑のカーテン大作戦』を展開している。